

2016年3月期 決算説明会

2016年4月28日

 栄研化学株式会社

本日の内容

1. 2016年3月期 経営成績
2. 中期経営計画(2017年3月期～2019年3月期)
3. 2017年3月期 業績予想

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。
本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

1

 栄研化学株式会社

2016年3月期 経営成績

2016年3月期 業績総括

(単位: 百万円)

	2016年3月期					
	業績予想	実績	構成比	予実差異	前期差異	前期比
売上高	32,820	32,163	100.0%	▲656	1,148	103.7%
営業利益	3,330	3,536	11.0%	206	709	125.1%
経常利益	3,350	3,570	11.1%	220	556	118.5%
当期純利益*	2,180	2,429	7.6%	249	329	115.7%

*親会社株主に帰属する当期純利益

【売上高】

業績予想に対してマイナス6億56百万円、国内は前年並み、海外向け売上高は前期比で29.4%増

【営業利益】

継続的な製造原価の低減、経費の効率的使用により、前期比で25.1%増

【当期純利益】

特別損失として、野木工場の新製造棟建設に伴う解体費用等で1億83百万円を計上、前期比で15.7%増

製品の種別別区分ごとの売上高

(単位：百万円)

製品の種別別区分	2015年3月期		2016年3月期	
	実績	前期比(%)	実績	前期比(%)
便潜血検査用試薬 (OC)	7,554	111.2	8,143	107.8
免疫血清学的検査用試薬 (OCを除く)	9,873	102.5	9,997	101.3
尿検査用試薬 (URO)	2,135	100.1	2,302	107.8
微生物検査用試薬	4,654	98.1	4,603	98.9
生化学的検査用試薬	658	95.9	643	97.6
器具・食品環境関連培地	2,324	98.9	2,233	96.1
医療機器関連 (遺伝子関連機器を除く)	2,716	105.7	3,077	113.3
遺伝子関連(LAMP) (医療機器関連を含む)	1,097	98.6	1,162	105.9

4

栄研化学株式会社

便潜血検査用試薬(OC)

□ 前期比: 107.8%

(国内) 前期比: 101.7%

□ 便潜血測定装置「OCセンサーPLEDIA」による販売推進

□ OTC試薬(便潜血検査)の開発

(海外) 前期比: 124.9%

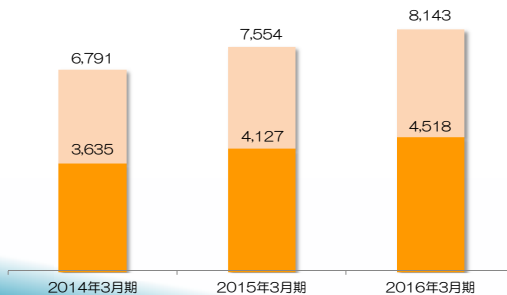
□ 北米での便潜血検査用試薬の販売推進

□ フランス及びスペインの大腸がんスクリーニング検査の開始

□ オーストラリア、ニュージーランドで販売拡大

□ イングランドほか、国家スクリーニング獲得に向けた各国での活動継続

■ 通期 ■ 中間



5

栄研化学株式会社

免疫血清学的検査用試薬

□ 前期比: 101.3%

(AIA関連試薬)

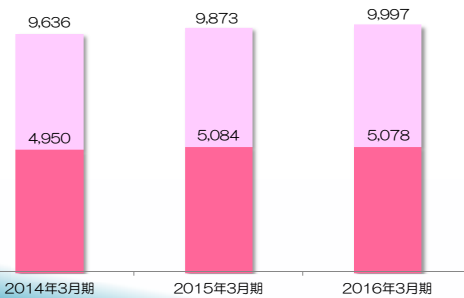
□ AIA関連試薬は前期並みで推移

(LZ試薬)

□ 胃の健康度評価(ABC分類)の普及促進とピロリ抗体検査用試薬の重点販売

□ 2016年2月にKL-6を新発売

● 通期 ● 中間



6

栄研化学株式会社

尿検査用試薬

□ 前期比: 107.8%

(国内)

□ 全自動尿分析装置「US-3500」の新規採用先増加により、ウロペーパーαが伸長

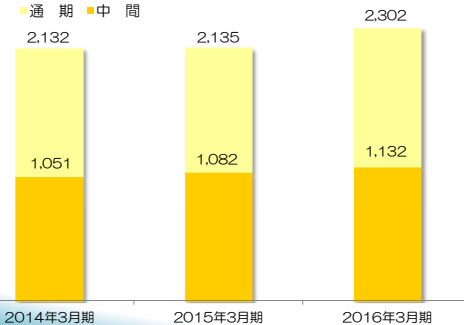
(海外)

□ イタリア向け尿試験紙の販売増加

□ シスメックス社向け尿試験紙等の供給開始

□ 新製造棟の建設開始(2015年11月)と尿試験紙の新規設備導入準備

● 通期 ● 中間



7

栄研化学株式会社

微生物検査用試薬

□ 前期比: 98.9%

(培地)

□ 遺伝子検査の影響を受けて糞便培地を中心に売上減少

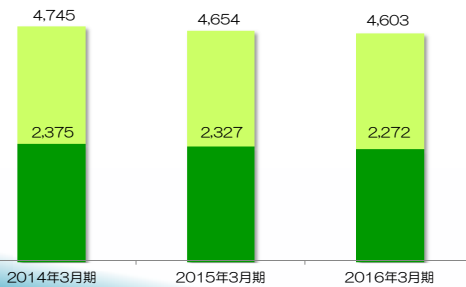
(迅速検査用試薬)

□ イムノキャッチ-ノロを中心に減少
 □ 呼吸器感染症のラインアップとして、2015年8月に「イムノキャッチ-RSV」、2016年1月に「イムノキャッチ-肺炎球菌」を発売

(薬剤感受性検査用試薬)

□ DPS192iX^{※1}・192プレートとMALDIバイオタイパーMF^{※2}の組み合わせによる新規採用先の拡大により、売上増加

■ 通期 ■ 中間



※1 微生物感受性分析装置

※2 微生物分類同定分析装置

8

栄研化学株式会社

遺伝子関連(LAMP)

□ 前期比: 105.9%

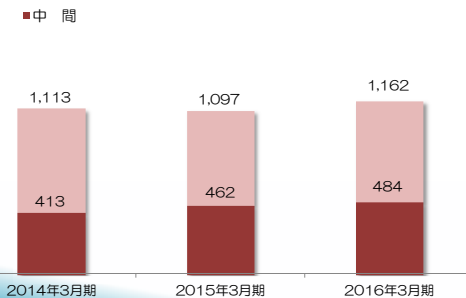
(国内)

□ 結核菌群、マラリア、マイコプラズマが伸長
 □ 次世代の小型全自動遺伝子検査装置及び多項目検査チップの開発推進

(海外)

□ WHO推奨取得に向けた活動
 □ TB-LAMP、マラリアのグローバル展開のための契約準備中
 □ TB-LAMPがフィリピンでのJICA民間技術普及促進事業に採択

■ 通期 ■ 中間



(ライセンス)

□ 特許料収入: 471百万円(対前期微減)

9

栄研化学株式会社

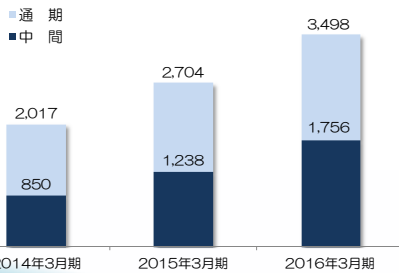
海外向け売上高

(単位：百万円)

海外向け売上高	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期	
	中間	通期	中間	通期	中間	通期
	850	2,017	1,238	2,704	1,756	3,498

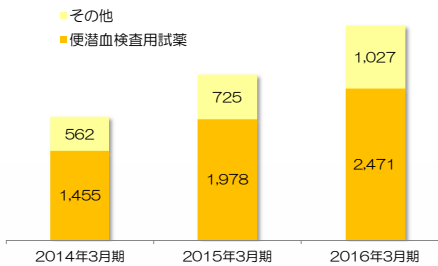
売上高

●前期比 129.4%



売上高(製品種類別)

●便潜血検査用試薬(OC): 前期比124.9%
●その他(機器を含む): 前期比141.6%



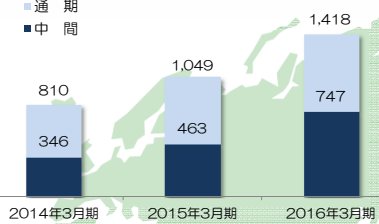
10

栄研化学株式会社

海外向け売上高(地域別)

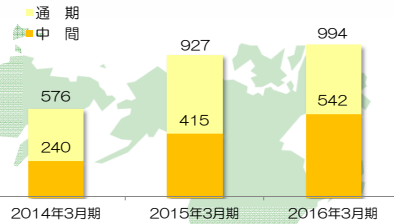
欧州

■通期
■中間



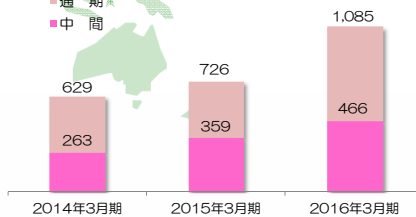
北米

■通期
■中間



アジア・他

■通期
■中間



(単位：百万円)

11

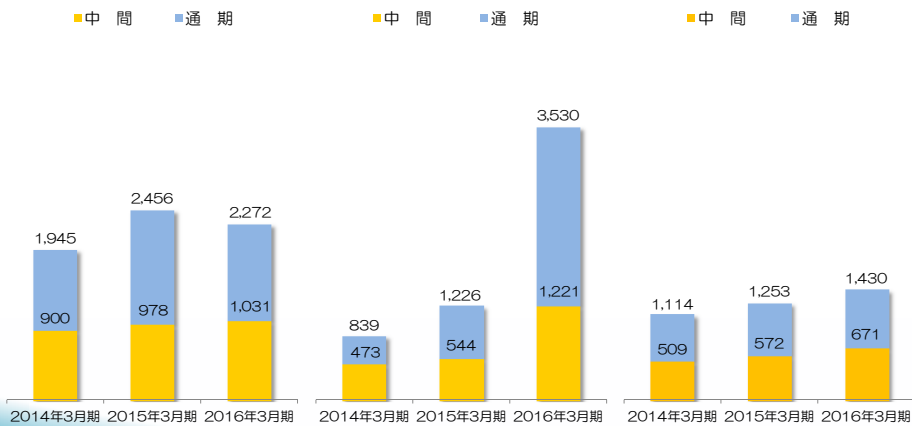
栄研化学株式会社

研究開発費・設備投資の推移

研究開発費(百万円)

設備投資(百万円)

減価償却費(百万円)



12

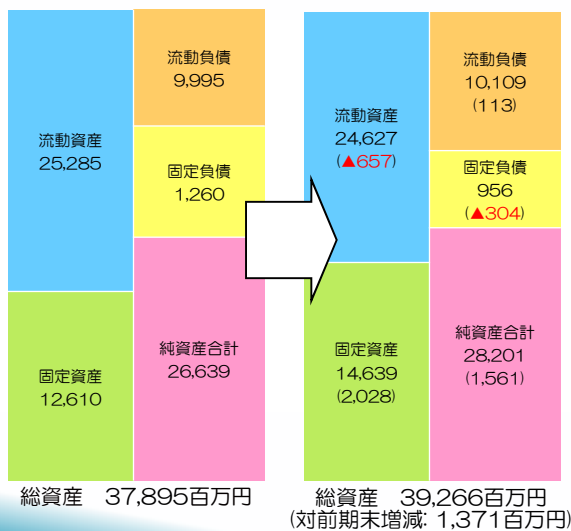
栄研化学株式会社

貸借対照表(主な増減理由)

2015年 3月期

2016年 3月期

- 主な増減理由 - (単位:百万円)



流動資産	増減額
現金及び預金	▲1,344
受取手形及び売掛金	477
固定資産	
有形固定資産	1,949
無形固定資産	75
流動負債	
支払手形及び買掛金	172
電子記録債務	172
未払法人税等	▲84
固定負債	
その他	▲272
純資産合計	
利益剰余金	1,732

13

栄研化学株式会社

キャッシュフローの推移

(単位：百万円)

	2015年3月期	2016年3月期
現金及び現金同等物の期首残高	10,940	6,577
営業活動CF	3,393	3,115
投資活動CF	▲6,652	▲3,737
財務活動CF	▲1,107	▲869
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	▲11
現金及び現金同等物の期末残高	6,577	5,074

主な営業活動CF	増減額(百万円)
税金等調整前当期純利益	3,390
減価償却費	1,430
退職給付に係る資産の増減額	▲224 (増加)
売上債権の増減額	▲481 (増加)
仕入債務の増減額	345 (増加)
法人税等の支払額	▲932

主な投資活動CF	増減額(百万円)
有形固定資産の取得による支出	▲3,097

主な財務活動CF	増減額(百万円)
配当金の支払額	▲694

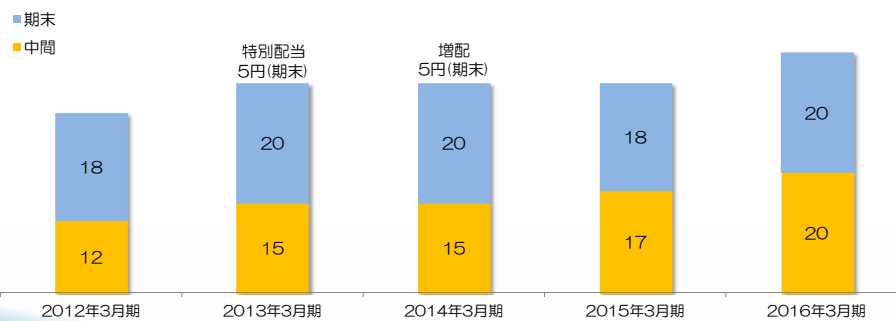
14

栄研化学株式会社

株主還元(配当金)

1株あたり配当額: 40円(中間: 20円、期末: 20円)

連結配当総額: 7億31百万円
連結配当性向: 30.1%




15

栄研化学株式会社

中期経営計画 (2017年3月期～2019年3月期)

16

 栄研化学株式会社

中期経営計画(2017年3月期～2019年3月期)

【経営目標】

グローバル企業“EIKEN”の実現に向けた取り組みを加速し、ヘルスケアを通じて世界に貢献するとともに持続的な成長と着実な収益性の向上を目指す。

業績目標

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
売上高 (百万円)	33,830	35,840	37,880
海外向け売上高 (百万円)	4,760	6,520	8,120
海外向け売上比率 (%)	14.1	18.2	21.4
営業利益 (百万円)	2,710	3,600	4,700
営業利益率 (%)	8.0	10.0	12.4
ROE (%)	6.4	8.4	10.4

成長戦略

- ・国内市場での自社製品のシェアアップ
- ・グローバル展開の加速

次の成長への投資

- ・研究開発力の強化
- ・経営効率を高めるための基盤整備

17

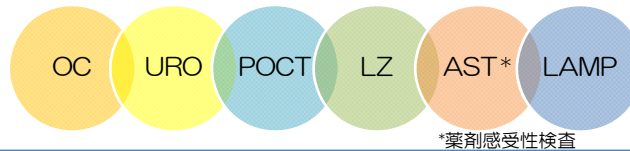
 栄研化学株式会社

国内市場での自社製品のシェアアップ

基本方針

自社製品群のラインアップ拡大による着実な成長

戦略品目



*薬剤感受性検査

重点施策

- 【OC】 受診率アップのための啓発活動とOTC試薬の市場投入
- 【URO】 尿沈渣メーカーとの連携と競争力のある尿分析装置の投入
- 【POCT】 イムノキャッチシリーズによる新規採用の獲得
- 【LZ】 胃の健康度評価(ABC分類)の普及推進と関連試薬の重点販売
- 【AST】 『DPS192iX』と『MALDIバイオタイパーMF』の組み合わせ販売による新規採用先の拡大と薬剤感受性検査用試薬の販売推進
- 【LAMP】 LAMP試薬(結核菌群、マイコプラズマ、百日咳)の院内検査化推進による販売拡大
呼吸器感染症チップ・装置の発売(2019年3月期4Q)

18

 栄研化学株式会社

グローバル展開の加速

基本方針

中長期的に安定成長できる事業ポートフォリオの構築

戦略品目のグローバル展開



重点施策

- 【OC】 大腸がん国家スクリーニングの獲得と新興市場の開拓
(国家スクリーニング)イングランド、オーストラリアほか
(新興市場の開拓)ASEAN、インド、中東、南米
- 【URO】 シスメックス社との尿定性検査分野での協業
- 【LZ】 胃の健康度評価(ABC分類)の普及等によるLZ試薬の展開
- 【LAMP】 TB-LAMP、マラリア等の展開

19

 栄研化学株式会社

研究開発力の強化

基本方針

- 新技術の創生・導入による大型製品群の開発推進
- 既存技術のブラッシュアップによる製品の改良、製品ラインアップの拡大

重点施策

- 次世代の小型全自動遺伝子検査装置及び多項目検査チップの開発推進
【適応分野】感染症、がん、コンパニオン診断等
- 産官学共同研究による新規バイオマーカー、新技術の探索
- LZ試薬、POCT製品(イムノキャッチシリーズ)等の改良及びラインアップ拡大

20

 栄研化学株式会社

経営効率を高めるための基盤整備

基本方針

- 生産能力の拡大と製造原価の低減
- 全社最適化による経営効率の向上



新製造棟完成予想図(野木工場)

重点施策

- 野木工場
尿検査用試薬(ウロペーパー及びウロペーパー α)の増産体制と大幅な製造原価低減を実現する新製造棟の稼働
- 那須工場
OC、LZのグローバル展開拡大に向けた増産体制の確立(OC: 倍増)
- 全社ITシステムの見直し

22

 栄研化学株式会社

株主還元

株主還元方針

- 株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付け、業績に応じた利益配分と内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を継続

株主還元

連結配当性向30%以上

23

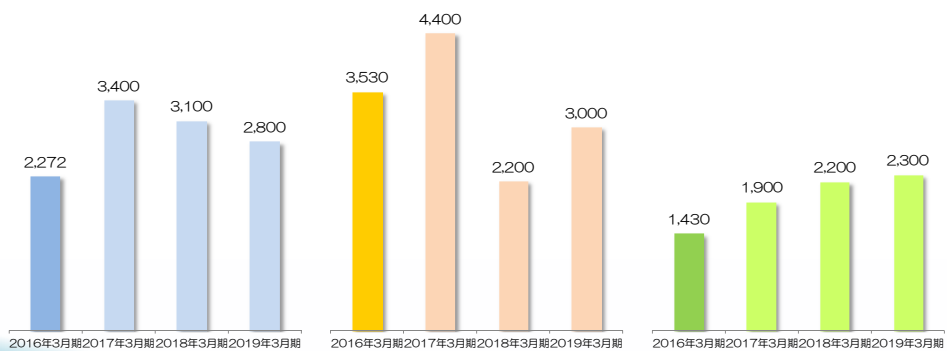
 栄研化学株式会社

研究開発費・設備投資の計画

研究開発費(百万円)

設備投資(百万円)

減価償却費(百万円)



24

 栄研化学株式会社

2017年3月期 業績予想

25

 栄研化学株式会社

2017年3月期 業績予想

業績予想 (単位：百万円)

	連 結		
	金 額	構 成 比	対前期比
売 上 高	33,830	100.0%	105.2%
営 業 利 益	2,710	8.0%	76.6% ^{※2}
経 常 利 益	2,710	8.0%	75.9% ^{※2}
当 期 純 利 益 ^{※1}	1,820	5.4%	74.9% ^{※2}

^{※1} 親会社株主に帰属する当期純利益

^{※2} 集中的な研究開発投資等の一時的な費用増加により減益見込み

配当予想 (単位：円)

	中間配当	期末配当	年 間	配当性向
	20	20	40	40.2%

26

 栄研化学株式会社



栄研化学株式会社

臨床検査薬の総合メーカーとして
人々の健康に貢献していきます。